

週間国際経済 2021 (17) No.267 05/18~05/24

05/18・GDP年率5.1%減(1-3月) 緊急事態宣言で消費低迷 昨年度は戦後最大4.6%減

05/19・景気回復、コロナ対策を映す 米中加速、日欧遅れ <1>

- ・2050年脱炭素 IEA(国際エネルギー機関) 工程表 化石燃料へ新規投資停止 <2>
- ・シェール停滞、原油高招く 投資抑え生産低迷 強まるインフレ懸念

05/20・仮想通貨軒並み急落 投資家心理が悪化 NY株一時580ドル安 <3>

ビットコイン一時30%下落、4月の最高値から半減

- ・資産購入縮小「どこかで」FOMC(米連邦公開市場委員会)4月議事要旨
緩和出口論へそろり布石 鈍い雇用回復 市場との対話難しく
- ・輸出額4月38%増加 2010年以來の伸び 米向け自動車 中国向け半導体
- ・台湾 蔡英文氏、支持率4割に低下 綻ぶコロナ対策 強まる中国依存
- ・ドイツ=ロシアガスパイプライン計画 米、制裁一部見送り 米独同盟修復を優先
ロシアとも関係改善探る 対中国シフトに布石

05/21・最低法人税率「15%を下限」 米財務省 低税率国に歩み寄り

- ・イスラエル、ハマスと停戦 エジプト仲介 米の影響力揺らぐ 政策変更不信招く
強硬ネタニヤフ氏求心力 ガザ衝突で窮地一転 野党は連立協議頓挫
- ・消費者物価0.1%低下 4月 9ヶ月連続マイナス
- ・中銀デジタル通貨(CBDC) 夏に見解 FRB、発行可能性に焦点

05/22・米韓、朝鮮半島非核化で一致 首脳会談(21日ワシントン) 対話外交を促進<4>

台湾海峡安定でも協力、共同声明に明記 「対中」に韓国引き戻す

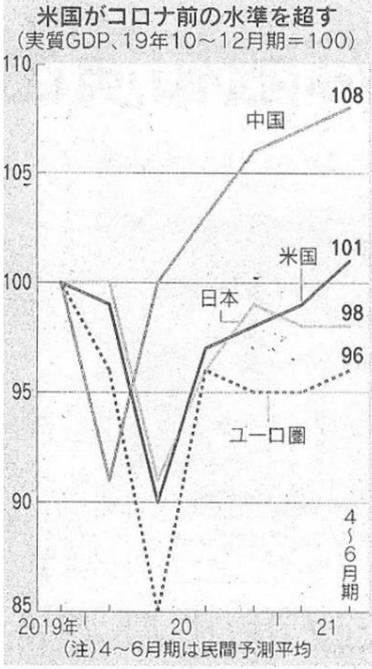
韓国勢、米で4兆円投資 サムスンや現代自 供給網を強化

- ・仮想通貨、強まる監視網 米、1万ドル超の送金に報告義務へ 資金洗浄・テロ資金
- ・EU、対中投資協定の審議を凍結 欧州議会 早期発効困難に
ウイグル人権問題で制裁応酬 習氏戦略に影
- ・米インフラ投資、野党に譲歩案 2兆ドルから1.7兆ドルに圧縮 増税は譲らず
- ・欧州企業、5月景況感が改善 ユーロ圏3年ぶり水準 米英は最高に <5>
ワクチン普及、都市封鎖の緩和進む

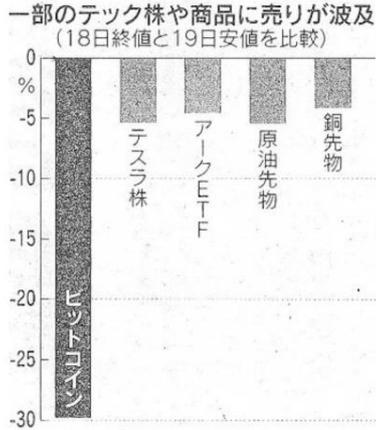
05/23・G7 気候相会合 石炭火力への資金停止合意 日本、政策見直し急務

05/24・米ワクチンに「特典」続々 「様子見」層に接種促す効果 <6>

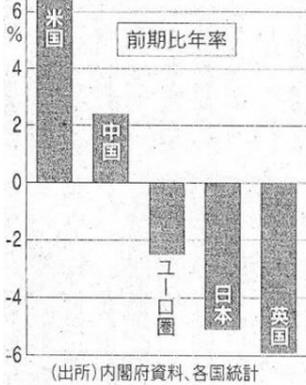
<1>



<3>



1~3月期の成長率は
国・地域によって明暗



<4>

米韓首脳会談の概要

- 「朝鮮半島の非核化」へ北朝鮮と対話。現実的な措置を採用
- 米国は北朝鮮担当特使を新たに任命
- 台湾海峡の平和と安定の重要性で一致
- 日米豪印の「Quad (クアッド)」に韓国も協力
- 新型コロナのワクチン供給拡大へ連携強化

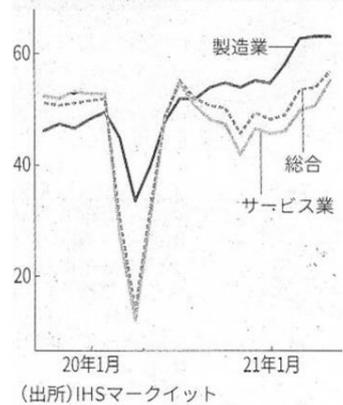
(注) 両首脳の発言や両政府の発表に基づく

<2>

IEAが示す脱炭素の主な工程表

年	具体策
2021年	化石燃料関連の新規投資決定を停止
30	新車販売の6割をEV・PHVに
35	内燃機関車の新車販売停止
40	世界で石炭・石油火力発電を段階的に廃止
50	エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合を約7割に

<5> ユーロ圏の購買担当者景気指数



<6> 米国のワクチン接種ペースは減速

